

のあり方について語り合う

に向けた戦略を考察～

「水道水質職員は、私もその一人として大に傷つけられました。その中で淀連協、淀水協といった団体を軸に、琵琶湖淀川を水源とする水道事業体が水源地水質監視を連携して調査してきた経緯があります。それが浄水処理の高度化にもつながったわけですが、今改めて振り返れば、その頃が水道水質技術者としてのピークだったのかも知れません。浄水処理を高度化し「オゾン活性炭処理」というブラックボックスを作ったことで、浄水処理部門の一翼を担っていた水質技術者の役割は、プラント管理技術者へと引き継がれました。同時に、大幅に増えた水質検査項目及び高度分析機器への対応、ラボの認証取得への対応など業務の高度化を求められ、水質屋を横に見つつ「析専門家」へ移行しているようにこれは私のノカもしれませぬ職が経験や技術建設や管理をから、「機械変化し、かつ呼ばれた「水プラント」がブラック化しつつその究極の姿システムですけれども、本題のキモなる「当たたらすパラドクス」と言えるので

年の技術的な成果にもかかわらず努力すれはばの関心が薄れるという、水道事業体が抱える「パドクス」です。下

大学教育の一環で交流深化…堀
カナダはタップウオーター…サフエオン



サフエオンさん

水道事業体による市民広報については、「当たり前」という言葉に象徴されるように水道というライフライン施設の本質的価値に対する一般市民の認識不足が課題になっている。この課題の解決に向けては、戦略的な広報が不可欠だが、今年2月に吹田市水道部が市民向けに配布している『すいどうにゅーす』において地元大阪大学の留学生に対するアンケートや（英語による）「出前授業」と併せた取材により、留学生の母国での水道水の直接飲用率の高さや吹田市の水道水への高い評価の周知が図られるとともに、水道水がボトル水と比較して環境負荷軽減に貢献していることをアピールするなど、水道事業体による市民に対する戦略的広報のあり方を示唆するものと言えそうだ。本紙では、吹田市水道部が大阪大学との官学連携により展開した市民広報のエッセンスを再確認することを目的とした座談会を企画、同市水道部の広報担当者、大阪大学関係者と留学生、さらには後藤市長にも語らいいに加わっていただいた。

と其の解決に向けた
者え方

—今日もまた、

生にも意見交換に加わっていただくことで、水道事業体の広報戦略のあり方を考察できればと思います。

ます。本題に入る前に、元々水道部のご出身で水道広報にも一筆言お持ちの後藤市長から、水道事業者による市民への接し方について、広報を取り巻く課題とその解決に向けた考え方を踏まえてご見解を伺えればと思ひます。

くご存知の通り、日本の水道関係者は、「豊富」ち、「豊富」と「低廉」臭いは人間の五感で感知

「低酸素」「清浄」の達成に比べて「清浄」は利用者にとって理解しにくく、事業者にとつて説明、広報する上で苦労する点だ。有無は臭いや味で判別

できません。浄」要素
水質分析
化学的知
「清浄」で
ベル、定
ています。
汚染から

幼い頃の刷り込みが必要
新たなカルチャー確立へ

後藤

水道事業も然りで、かつて大雨のたびに浸水していた地域に雨水貯留池を整備した結果、浸水のないことが「当たり前」となり、雨水一時貯留施設と健康が「当たり前」と

危険事象の可能性の高まりを市民レベルで浸透させる必要があります。人間の身体に響えるなら、健康な人であればあるほど「当たり前」と感じよう

と私達にも直に感じます
森本主

に合わせなくては

ね。

の存在意義が地域住民に
なつて、一良い状態だか
ら」と関心が下がり、鈍
感になりがちなこととも
通するものがあります。
ゆえに、先行投資的な水
道の仕事は理解されにく
く、世代ごとにターゲッ
トを意識した広報も必要
ら回えますか？

対して住民にも認識を深めていただく必要があり
 ます。地震時にはその価
 値を実感する局面がある
 わけですが、一昨年発生
 した水管橋の落下事故の
 ように、何事もなかった
 のに突然水が出なくなる
 ことがあります。

ですから、特に重要になるの
 は幼い頃の「原体験」で
 す。例えば、自分も空き
 缶を路上で捨てることは
 できませんが、それは私
 が偉いのではなく、幼い
 頃から「外でゴミを捨て
 てはいけない」と刷り込
 めないのは「当たり前」

中本圭住 市長のお話
 ところ
 をお聞きして、特に「当
 たり前」の捉え方につい
 て多々考えさせられるも
 のがありました。学生時
 代に何度か足を運んだ東
 南アジアでは、蛇口の水
 を飲めないのは「当たり
 前」で、水の改善の

林圭住

水道の存在価値への理解を

吹田市水道部「すいどうにゅーす」のコンセプトを踏まえ

座
談
会

◆特集 関西地方の上下水道事業

語らった方々

吹田市長 後藤圭二さん
大阪大学大学院助教 堀さやかさん
吹田市水道部
総務室主任(広報担当) 森本美帆さん
総務室主任(広報担当) 中本紗世さん
浄水室主任 林麻衣子さん
大阪大学経済学部1年
(カナダからの留学生) グレイ・サフェオンさん

大阪大学の
参加者の
く、日本
吹田市の